

令和7年度の公金運用状況についてお知らせします。

令和 7 年度の歳計現金等（歳計現金及び歳入歳出外現金）、基金、新潟東港臨海用地造成事業会計、基幹病院事業会計及び流域下水道事業会計に属する資金の運用状況を取りまとめましたので、お知らせします。

1 運用方針

「新潟県公金管理方針」に基づき、安全性及び流動性の確保を前提に、可能な限り有利な運用に努めました。

2 運用状況

(1) 歳計現金等

運用は金融機関への預金により行いました。

県税収入や地方消費税清算金収入の増加などにより、平均資金残高が増加し、預金金利も上昇したことから、運用収入は前年度より 1,468 万 3,832 円増加し、1,858 万 4,379 円となりました。

(2) 基金

運用は金融機関への預金及び国債等の債券により行いました。

「新潟県行財政基本方針」に基づき、一括運用を実施したことや、預金金利、債券金利が上昇したことなどから、運用収入は前年度より 6 億 4,186 万 6,491 円増加し、19 億 511 万 7,433 円となりました。

(3) 新潟東港臨海用地造成事業会計

運用は金融機関への預金により行いました。

平均資金残高が増加したことから、令和 4 年度以来 3 年ぶりに運用を実施し、運用収入は 8 万 9,556 円となりました。

(4) 基幹病院事業会計

運用は金融機関への預金により行いました。

預金金利が上昇したことから、運用収入は前年度より 540 万 4,829 円増加し、825 万 7,191 円となりました。

(5) 流域下水道事業会計

運用実績はありません。

資金別運用状況

(単位：円、％)

区分		令和 7 年度 ①	令和 6 年度 ②	増減 ①－②
歳計現金等	平均資金残高	16,624,941,330	10,748,424,525	5,876,516,805
	別段預金	13,613,982,426	9,052,534,114	4,561,448,312
	定期預金等	3,010,958,904	1,695,890,411	1,315,068,493
	運用収入	18,584,379	3,900,547	14,683,832
	利回り	0.617	0.230	0.387
基金	平均資金残高	374,905,412,274	363,972,955,457	10,932,456,817
	預金計	148,226,269,354	161,040,750,355	△ 12,814,481,001
	普通預金	14,828,464,072	3,984,350,843	10,844,113,229
	定期預金等	133,397,805,282	157,056,399,512	△ 23,658,594,230
	債券	221,090,101,824	194,822,616,061	26,267,485,763
	繰替運用	5,589,041,096	8,109,589,041	△ 2,520,547,945
	運用収入	1,905,117,433	1,263,250,942	641,866,491
	利回り	0.508	0.347	0.161
新潟東港臨海用地造成事業会計	平均資金残高	63,801,435	30,917,481	32,883,954
	別段預金	45,143,901	30,917,481	14,226,420
	定期預金等	18,657,534	0	18,657,534
	運用収入	89,556	0	89,556
	利回り	0.480	－	0.480
基幹病院事業会計	平均資金残高	3,568,742,878	3,995,532,194	△ 426,789,316
	普通預金（決済用）	2,120,112,741	2,755,806,167	△ 635,693,426
	定期預金等	1,448,630,137	1,239,726,027	208,904,110
	運用収入	8,257,191	2,852,362	5,404,829
	利回り	0.570	0.230	0.340
流域下水道事業会計	平均資金残高	1,021,333,128	1,232,094,060	△ 210,760,932
	普通預金（決済用）	1,021,333,128	1,232,094,060	△ 210,760,932
	定期預金等	0	0	0
	運用収入	0	0	0
	利回り	－	－	－

注1：歳計現金等とは、歳計現金（県の歳入歳出に属し日々の支払いに充てる現金）に歳入歳出外現金（入札保証金等）を加えたものです。

注2：基金は、県債管理基金など 30 基金の合計です。（土地基金（貸付金）、産業振興貸付基金（貸付金）、土地基金（土地）、災害救助基金（備蓄物資）を除く。）

注3：繰替運用とは、歳計現金に資金不足が生じた場合に、基金の現金を歳計現金へ繰り替えて運用することです。

注4：平均資金残高は、4月1日から3月31日まで（365日間）における1日あたりの資金残高を表したものです（平均値）。

（平均資金残高＝各日の資金残高の合計÷年間日数（365））

注5：基金の利回りは、年率換算したものです。（利回り＝運用収入÷平均資金残高）

歳計現金等、新潟東港臨海用地造成事業会計、基幹病院事業会計及び流域下水道事業会計の利回りは、決済用の別段預金・普通預金を除いて年率換算したものです。（利回り＝運用収入÷平均資金残高（定期預金等））

本件公表及び歳計現金等についてのお問い合わせ先
出納局管理課参事（課長補佐） 中川
（直通電話）025-280-5752（内線 3485）

基金についてのお問い合わせ先
総務部財政課資金・決算財政調整員 野崎
（直通電話）025-280-5576（内線 2250）

新潟東港臨海用地造成事業会計についてのお問い合わせ先
交通政策局港湾振興課課長補佐 吉田
（直通番号）025-280-5928（内線 3448）

基幹病院事業会計についてのお問い合わせ先
福祉保健部地域医療政策課参事 岩井
（直通番号）025-280-5919（内線 2596）

流域下水道事業会計についてのお問い合わせ先
土木部都市局下水道課課長補佐 内藤
（直通番号）025-280-5857（内線 3340）